



夢はこび半世紀

出雲縁結び空港 開港50周年



昭和41年(1966)6月30日に県営出雲空港が開港して、今年でちょうど50年。島根県の空の玄関口として、観光、旅行、ビジネスなど、私たちの生活になくてはならない施設です。開港50周年を記念し、出雲縁結び空港のあゆみを振り返ります。



昭和41年(1966)
出雲空港開港

6月30日、県内2か所目の空港となる出雲空港が開港しました。昭和36年に建設が決定し、同39年に工事着工した出雲空港の総事業費は4億7,600万円。当時の空港は、現在の面積約57haの半分以下の約21ha。滑走路の長さもまだ1,200mでした。7月11日には、大阪から46人の乗客を乗せた初便YS11機が到着し、1,000人以上が出迎えました。



広報ひかわ 昭和41年7月号

8月10日、東京との直行便が就航しました。直行便就航により、それまでの大阪乗り継ぎよりも約40分短縮されて、2時間20分で東京と行き来することが可能になりました。翌年11月には、東京便にジェット機が就航し、出雲一東京間が1時間25分になりました。

昭和54年(1979)
東京線開設



昭和62年(1987)
初の国際チャーター便が乗り入れ

7月5日、出雲空港初の海外路線となった韓国釜山行きチャーター便が就航しました。この後、平成2年2月には、香港の航空会社のチャーター機が、海外航空機としては初めて出雲空港に乗り入れ、香港・マカオへ旅立ちました。



昭和56年(1981)
ターミナルビル開業

3月、旧ターミナルビルが開業しました。当時は1階建てのビルでした。(現在のターミナルビルは、平成5年7月開業)





空港のあゆみ

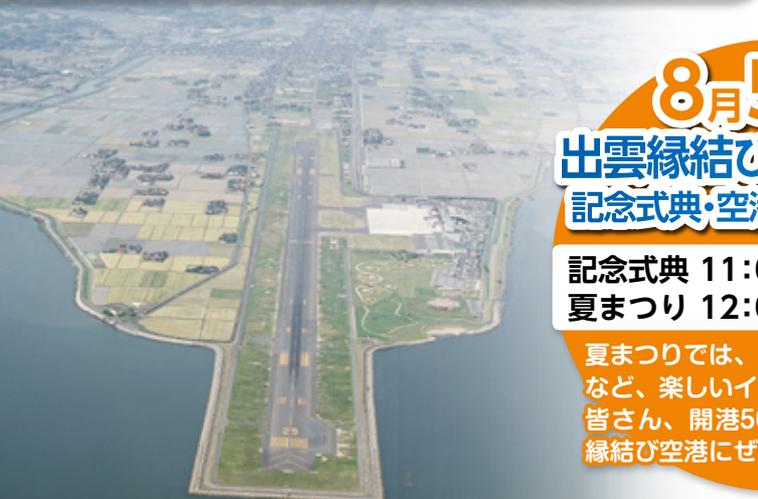
- 昭和41年(1966) 6月 県営出雲空港開港(滑走路1,200m)
- 7月 大阪線・隠岐線開設
- 45年(1970) 12月 滑走路延長(滑走路1,500m)
- 54年(1979) 8月 東京線開設
- 56年(1981) 3月 旧ターミナルビル開業
- 59年(1984) 12月 福岡線開設
- 62年(1987) 7月 初国際チャーター便(韓国釜山)
- 平成 2年(1990) 2月 初外国機チャーター便(香港)
- 3年(1991) 3月 滑走路延長(滑走路2,000m)
- 5年(1993) 7月 新旅客ターミナルビル開業(現ターミナルビル)
- 8年(1996) 7月 札幌線開設
- 9年(1997) 2月 国際線ターミナルビル増築
- 10月 名古屋線開設
- 10年(1998) 9月 利用客1,000万人達成
- 17年(2005) 5月 利用客1,500万人達成
- 22年(2010) 7月 愛称「出雲縁結び空港」決定
- 24年(2012) 5月 利用客2,000万人達成
- 26年(2014) 3月 年間利用客80万人達成(開港以来初)
- 8月 札幌線再開
- 27年(2015) 3月 名古屋線再開

●現在の運航路線(平成28年度上期)

- 東京線 ※1日5往復10便 / 大阪線 ※1日5往復10便
- 福岡線 ※1日2往復4便 / 隠岐線 ※1日1往復2便
- 名古屋線 ※1日2往復4便 / 札幌線 ※季節運航(8月)



2015空の日まつりの様子



8月5日(金)

出雲縁結び空港50周年 記念式典・空港夏まつり開催!!

記念式典 11:00~11:40(予定)
夏まつり 12:00~20:00(予定)

夏まつりでは、神楽の上演や抽選会など、楽しいイベントがいっぱい! 皆さん、開港50周年を迎えた出雲縁結び空港にぜひお越しください。



9月21日、出雲空港の利用客が通算1,000万人に到達しました。平成24年5月には2,000万人に達し、平成28年5月末時点で累計2,320万人の方が利用しています。

平成10年(1998)
利用客1,000万人
達成

平成26年(2014)
年間利用客が
80万人を突破

出雲大社で本殿遷座祭があった平成25年度、年間利用客が初めて80万人を突破し(平成26年3月)、過去最高の83万7,840人に達しました。その後、平成27年度も83万人を超え、今年度も順調に推移しています。



平成27年(2015)
10年ぶりに
名古屋線就航



3月29日、出雲-名古屋(小牧)線の定期路線が10年ぶりに就航し、中京圏域と約1時間で結ばれました。当初は1日1往復で運航していましたが、利用率の好調さを受け、今年7月からは2往復化が実現しました。

さらに便利に!

出雲-東京線の機材 が大型化されます!

7月16日~10月29日の間、1日5往復(10便)のうち4往復(8便)が261人乗り機材で運航されます。座席数が増え、ビジネスや旅行がますます便利に! 早めの予約がおすすめです。詳しくは、JALのウェブサイト(<http://www.jal.co.jp>)をご覧ください。